

相模原市 学校事務職員のキャリアステージにおける人材育成指標

めざす力	子どもと地域の未来に向けて伴走する職員							
	学校で働く職員の一員として、めざす教員像「教育愛にあふれ社会の中で学び続ける教員(1)人間性豊かな教員(2)信頼される教員(3)指導力向上に努める教員」についての視点は重要である。 * 相模原市教育委員会人材育成方針より							
	キャリアステージ							
	めざす力	領域	内容	基礎形成期 事務主事（初任者）	基礎形成期 事務主事（2年目以降）	向上期 主任事務主事	発展期 事務主査	自己実現期 総括事務主査
				わかる	わかる	できる	進める	広げる
	社会人としての 基礎的資質・能力	人間性	人間性を高め続ける姿	職務に対する自覚、使命感や熱意、責任感を持ち、高い識見をもって人権感覚を身に付けるとともに、規律を守り、礼儀正しい行動をとる。				
		社会性	社会性を高め続ける姿	社会の状況を把握して職責にあたるとともに、コミュニケーション能力を高め、良好な人間関係を構築し、協働的に職務を遂行する。				
		自律性	自らを律する姿	健康管理と基本的な生活習慣の維持、法令や規則の遵守、職務遂行のための業務管理を行う。				
		危機管理	危機管理意識をもち続ける姿	危機管理意識をもち、見直しをもって様々なリスクに積極的な姿勢で対応する。				
	教職員の素養	使命感と熱意 温かさと先進性	教育に対する恒久的な使命感 謙虚に学び続ける姿勢	学ぶ姿勢をもち続け、職務に対して使命感をもっている。	学ぶ姿勢をもち続け、使命感をもって職務を遂行している。	学ぶ姿勢をもち続け、使命感をもって組織の一員として職務を遂行している。	学ぶ姿勢をもち続け、使命感をもって教職員と組織的に連携し、職務を遂行している。	学ぶ姿勢をもち続け、使命感をもって全教職員と組織的に連携する中核的な役割を果たしながら、職務を遂行している。
		コミュニケーション能力	組織の活性化のための円滑なコミュニケーション	組織の一員としての役割を理解し、教職員との円滑なコミュニケーションを図っている。	教職員との報告・連絡・相談を適切に行い、円滑なコミュニケーションを図っている。	教職員間の連絡調整を適切に行い、円滑なコミュニケーションを図っている。	課題を共有し、共に解決できる環境をつくり、円滑なコミュニケーションを促進している。	自分の強みを生かし、課題を共有し、共に解決できるような環境をつくり、円滑なコミュニケーションを促進している。
		社会の一員としての自覚	社会の状況を把握できる広い視野	広い視野で教育について考えている。	広い視野で教育について考え、社会の変化に柔軟に対応している。	広い視野で教育について考え、社会の変化に柔軟に対応し、自身の職務に生かしている。	広い視野で教育について捉え、社会の変化に柔軟に対応し、自身の職務に生かしている。	広い視野で社会の変化を的確に捉え、見直しをもって職務に生かしている。
	学校経営における マネジメント能力	学校経営への参画	学校教育目標の具体化に向けた学校経営への参画	「チーム学校」の一員として、学校教育目標及び学校経営方針等を理解している。	「チーム学校」の一員として、学校教育目標及び学校経営方針等を理解し、職務を遂行している。	「チーム学校」の一員として、学校教育目標及び学校経営方針等を理解し、主体的に考え、職務を遂行している。	組織マネジメント能力を身に付け、学校教育目標実現に向けて主体的に学校経営に参画している。	組織マネジメント能力を活用し、学校の活性化に向けて、主体的に学校経営に参画している。
		課題解決	自己研鑽 OJTの推進	周りの教職員の助言を参考に改善に努めている。	周りの教職員の助言を参考に改善に努め、その成果を生かそうとしている。	周りの教職員の助言を参考に改善に努め、その成果を組織に広げている。	課題解決のために課題を発見し、解決のための企画・立案をするとともに、情報の共有に努め、人材育成を意識して、指導的役割を果たしている。	突発的な課題にも臨機応変に対応するとともに、課題解決のために情報の共有に努め、人材育成を意識して、自己の役割に応じて指導的役割を果たしている。
		子どもや地域社会の理解と連携	子ども理解と子どもの特性等に 応じた取組 保護者・地域社会への働きかけと協働的な関係づくり	○自校の子どもの特性等を理解しようとしている。 ○保護者・地域との連携の重要性を理解している。	○自校の子どもの特性等を理解している。 ○保護者・地域との連携の重要性を理解し、関わっている。	○自校の子どもの特性等を理解し、それを踏まえた取組を行っている。 ○保護者・地域、関係機関と積極的に関わり、協働的な関係を構築している。	○自校の子どもの特性等を踏まえた効果的な取組を行っている。 ○保護者・地域、関係機関と連携し、協働的なネットワークづくりを推進している。	○自校の子どもの特性等を踏まえ、全校的な視点に立った取組を行っている。 ○保護者・地域、関係機関との連携を図り、協働的なネットワークを生かし、活動を推進している。
めざす力	領域	内容	基礎形成期 事務主事（初任者）	基礎形成期 事務主事（2年目以降）	向上期 主任事務主事	発展期・自己実現期 事務主査・総括事務主査		
			わかる(室員)	わかる(室員)	できる(室員)	進める(室員)	広げる(副室長)	創造する(室長)
専門性を高める力	専門的知識	標準的職務に係る専門的知識	基本的な知識を身に付けようとしている。	基本的な知識を身に付けている。	基本的な知識を踏まえながら、研修等において、専門的知識を向上させている。	基本的な知識を踏まえながら、教職員に適切な指導助言を行っている。	室長の補佐として室員に適切な指導助言を行っている。	市内の学校事務の状況を把握し、地域全体の専門的知識の向上に努めている。
	事務処理能力	技能 実践力	関係法規に基づき事務処理を行っている。	関係法規に基づき事務処理を正確・迅速に行っている。	関係法規に基づき事務処理の工夫・改善に取り組んでいる。	関係法規に基づき職務に関する高度な知識と経験をもとに、事務処理を行っている。	○室長の補佐として室員の学校の状況や事務処理能力を把握し、専門事務能力向上のため、室員に対し指導助言を行っている。	○相模原市における学校事務能力向上のために、学校事務職員制度の現状と課題を把握し、教育関係機関と連携を図り改善に努めている。
	共同学校事務室	参画意識 学校事務職員の育成 事務処理の効率化	○共同学校事務室の活動と目的を理解している。 ○室員と協力して、担当業務を正確に処理している。	○共同学校事務室や様々な組織の活動を理解している。 ○グループ内のつながりを意識し、室員とコミュニケーションを取り、担当業務を正確かつ迅速に処理している。	○グループ運営について主体的に考え行動するとともに、室員へのサポートを行っている。 ○グループ内の縦や横のつながりを意識し、コミュニケーションを取りながら人や仕事の調整役を担っている。	○グループ運営について主体的に考え行動するとともに、室員へのサポートを積極的に行っている。 ○グループ内の縦や横のつながりを意識し、コミュニケーションを取りながら人や仕事の調整を適切かつ効果的に行っている。	○室長の職務の補佐、室長不在時の職務の代行、室長と室員との連絡調整及び室員への指導助言を行っている。 ○グループの状況を把握し、研修の計画や学校事務職員全体の知識・技術の向上、業務改善を推進するとともに、関係機関と協働的な関係を構築している。	○共同学校事務室相互の連携を図りながら、関係機関との連絡調整を行い、市内の学校事務改善に努めている。 ○市内の学校事務職員の状況を把握し、全事務職員の専門性向上のため指導助言を行っている。

必要な資質・能力 ①人間性 ②社会性 ③自律性 ④危機管理 ⑤人権の尊重 ⑥コンプライアンス意識 ⑦専門性と協働 ⑧広い視野と学び ⑨課題解決・施策(企画立案能力) * 相模原市教育委員会人材育成方針より

(協力) 相模原市学校事務研究協議会